大阪公立大学
Osaka Metropolitan University
学術情報リポジトリ

大阪府立大学大学院生命環境科学研究科学術報告投稿規程. 執筆要領

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2010-05-26 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10466/8953

Instructions for Authors　執筆要領

Ⅰ．欧文原稿の作成方法

（原著論文original paper 及びその他の記事）

1．Ａ４版（210mm×297mm）またはこれに近い大きさのタイプ用紙に，ダブルスペースで印字する。用紙の周囲に約３㎝の余白を残す。

2．原稿の第１ページには，論文題名，著者名，所属を記載し，下端にRunning Title（奇数ページの上に見出しとして印刷される）を以下のように記載する。

Ａ）論文題名：冠詞，前置詞，接続詞を除く語の頭文字を大文字とする（学名など規定のある場合を除く）。第○報の場合には，1，2，3のようにする。

記載例：

The Waltzing Mutant in the Shrew (*Suncus murinus*, Insectivora) Characterized by the Circling and Head-Shaking Behaviors 1. Inheritance and Breeding.

Ｂ）著者名：名，姓の順（外国人が著者の場合はその国の習慣に従う）にローマ字で表記する。著者が２名の場合は“and”でつなぎ，3名以上の場合は最後の著者以外を“,”でつなぎ，最後の著者を“and”でつなぐ。

記載例：

Ichiro Kawasaki and Jiro Yamada （著者が２名の場合）

Ichiro Kawasaki, Jiro Yamada and Saburo Ogawa （著者が３名以上の場合）

Ｃ）所属研究室（研究グループ）名：Laboratory of …, Graduate School of Life and Environmental Sciences, Osaka Prefecture University の形式で記載する。

Ｄ）Running Title：著者名は姓のみを記し，著者が３名以上の場合には第１著名のみを記して，第２著者以下を*et al.*で表す。略表題は50文字以内とし，第○報は1，2…のように記し，副題はつけない。

記載例：

H. Kawasaki *et al.*：Waltzing Behavioral Mutant of *Suncus murinus*-1

3．原稿の第２ページには，原著論文の場合には250語以内，総説，学位請求論文の場合には1,000語程度の英文Abstractを記載する。短報および資料ではAbstractを省略できる。

4．本文は第３ページからタイプする。本文中の引用文献は，適切な個所に，(Yamaguchi, 1995)，(Abe *et al.*, 1995a; Yamaguchi and Mochioka, 1996)のように記入する。

5．図・表の表題はFig 1. Location of …およびTable 2. Various cultivars of …のように記入し，図の表題は図の下に，表の表題は表の上に記載する。注や説明は図，表ともに図表の下に記す。

図は白色ケント紙，淡青色の方眼紙またはトレーシングペーパー（白色の台紙をつける）を用い，墨入れを行う。記入する文字，符号は鉛筆書きでよい。図の縮小率（長さ）を特に希望する場合は欄外に赤字で記す。

図表の挿入場所は本文の該当場所の右欄外に赤字で明記する。

6．引用文献（References）は著者名をアルファベット順に配列し，次の例にならって記載する。著者名，表題，誌名（書名）とも省略しない。

記載例：

Oda M., Dosai M., Ikeda H., and Furukawa H. 2002. Causes of low survival in cucumber (*Cucumis sativus* L.) plants grafted onto pumpkin (*Cucurbita moschata* Duch.) rootstocks by horizontal-cut grafting at the center of the hypocotyl. Sci. Rep. Grad. Agric. Sch. Biol. Sci., Osaka Pref. Univ., **53**, 1-6. (in Japanese)（一般論文の引用例）

Snedecor G. W. 1961. Statistical Methods. Iowa State Univ. Press, Iowa, p.13.（単行本の１ページのみを引用した例）

Tanaka T. 1977. Nogyo Mondai. Fudaisha Sakai, 215pp. (in Japanese)（単行本全体を参考にした例）

Hendricks S. B. and Bortwhick H. A. 1963. Control of plant growth by light. *In* “Environmental Control of Plant Growth” (ed. Evans L.T.). Academic Press, New York, 233-264.（編集者の有る本の１章を引用した例）

7．その他，原稿のスタイルとレイアウトについては，最新の号を参照すること。

Ⅱ．和文原稿の作成方法

1．ワードプロセッサーを用いてＡ４版横書き原稿用紙に明朝体で記載する。

2．記述は新かなづかいに従い，学術用語以外は原則として当用漢字を用いる。句読点は「，　。」を用いる。外国語は片仮名を用い，人名その他でローマ字を記入する場合はローマン体（普通の活字体）を用いる。動植物などの学名はイタリック体指定とし，和名は片仮名書きとする。

3．原稿の第１ページには論文題名，著者名，所属（連絡先）ならびにそれらの英訳を記載し，下端に簡略表題 Running Title を記す。英訳および簡略表題の記載は英文原稿の作成方法に従う。

4．原稿の第２ページ以降には，摘要（末尾にキーワードをつける），英文 Abstract（末尾にKey Wordsをつける），目次，本文の順にそれぞれ改ページして記載する。

5．図・表および欧文の引用文献は，欧文原稿の作成方法に従って記載する。和文の引用文献の記載は，下記の例に準じる。

記載例：

白河紀男　1970. 除草剤CMMPに関する研究（第４報）．特に作用機作について．園学雑，38，193－201.

平井篤造・鈴木直治 1963. 植物病理の生化学（後編）．農業技術協会，155－180.